

♪ わが家のアイドル ♪



寺池台
米山 ひめな 媛菜ちゃん (1歳2カ月)
いつも素敵な笑顔をありがとう!!
パパとママの宝物♡



甲田
西野 ゆり 友里ちゃん (2歳8カ月)
里央ちゃん (8カ月)
仲よし姉妹。これからも元気に育ってね!



高辺台
猪又 けんた 健太ちゃん (3カ月)
たくさん笑顔のパパとママに見せてね!

みんなの広場

宛先

5 8 4 - 8 5 1 1

常盤町1番1号
富田林市役所
情報公開課広報係

住所・氏名(ふりがな)・電話番号

わが家のアイドル(対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可)は、写真に、**メッセージ(20字程度)**を添え、**住所**、保護者とお子さんの**名前(ふりがな)**、**撮影時の年齢(月齢)**、**電話番号**を記入し、Eメール[kouhou@city.tondabayashi.lg.jp]または、封書で左記の宛先まで応募してください(**Eメールの場合は件名に「わが家のアイドル」と入力してください**)。なお、今応募された場合、掲載は約2カ月後になります。

100歳 おめでとうございます!



7月6日、100歳の誕生日を迎えられた谷 修子さんを訪問しました。現在も、農作業など楽しみながらお手伝いされているそうです。

短歌

武都紀 若松 寿子選

秀歌 Ⅱ
こぼれ散るサラサ空木の野辺の道塩辛蜻蛉は
薄紅を行く 錦織南 山中 哲夫
△選評▽作者はサラサ空木の薄紅の花を愛で
ながら散歩されていたのであろうか、塩辛蜻
蛉も飛んできて作者の歌心がふくらみ素敵な
お歌が生れたのだ。読者も長閑な気分にして
くれる短歌。

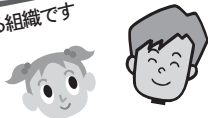
木と土と紙で出来たる祖父の家八十四歳ひつ
そりと逝く 津々山台 下村 英子
我ひとり勝手気ままに生きるけど愚痴も言わ
れず小言もいわず 南旭ヶ丘町 柳井 義信
黒揚羽すいと止まれる芍薬の白き花びら染む
かと思ふ 東板持町 山上 幸
朝の庭蛞蝓描きし絵柄見てハートの形に心躍
りぬ 楠風台 正木 浩
「ぼくいくつ」につこり笑って指三本そよ風
ほどのバイバイ返す 緑ヶ丘町 千葉 清子
人恋し小さき命のメダカにも話かけたし静寂
の朝 不動ヶ丘町 吉田 節子
老犬はべたんと座り餌を食む十六年もわが家
の家族 選者 詠

※9月号は「俳句」を掲載します(なお、応募は7月31日で締め切りました)

川柳・短歌・俳句は、それぞれ別のが
がきて応募してください(1人各5点ま
で)。市内在住の人で未発表のものに限
ります。作品の漢字や氏名には必ずフリ
ガナをつけてください。
10月号の「川柳(宿題「漠然」)は8月
31日(木)、11月号の「短歌」は9月30日(土)、
12月号の「俳句」は10月31日(火)までに
応募(いずれも必着)してください。
宛先は上記をご覧ください。

げんき! NPO

NPOとは営利を目的とせず社会活動をする組織です



◇「NPO」とは

「NPO」とは「Non-Profit Organization」の略称で、さまざまな社会貢献活動をし、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体のことをいいます。NPOは、さまざまな分野（福祉、教育・文化、まちづくり、スポーツなど）で、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されており、現在本市でも、多くのNPOが幅広い分野で活動しています。

◇市民公益活動支援センターをご存じですか

同支援センターは、団体設立や運営に関する相談、情報提供などを通じて、NPO法人、ボランティア団体、スポーツ団体などの市民公益活動団体や、町会（自治会）、老人会、子ども会、PTAなどの地縁団体を支援し、皆さんの役に立てるような活動をしています。また同支援センターでは、「自分たちの団体の活動をより多くの人たちに知ってほしいので、ホームペー

フェイスブックやFacebookの作成方法を教えてほしい」、「今度開催するイベントのポスターとチラシを作成したいのだけど、デザインを考えてほしい」、「ポスターやチラシなどを安く印刷したい」などの相談にも乗っていますので、気軽にご相談ください。ちなみに、近隣の市町村の支援センターとも連携していますので、「私たちと同じような活動をしている他市の団体と交流してみたい」などの相談もしていただけます。

◇市民公益活動支援センターへの団体登録のすすめ

登録団体になると、ワイヤレスアンプマイクや液晶プロジェクター（コンパクトで持ち運びしやすい新型になりました!）などの貸し出し備品を使用できたり、市内のネットワークステーションと公的連携施設を利用できたりするなど、市民公益活動のために必要なサービスを受けることができます。

他にも、「人と人を、人と団体を、団体と団体を繋げるマッチング」も実施しており、NPO法人だけでなく福祉委員会やすこやかネット、PTA、町会（自治会）なども団体登録していただけますので、ぜひご登録ください。

問い合わせ 市民協働課（内線 469）、市民公益活動支援センター ☎(26)7887

わがまちこのひと

寿町 高繁 勝彦さん

今回は、世界を股に掛けるアドヴェンチャー・ランナーの高繁 勝彦さんをご紹介します。アドヴェンチャー・ランナーとは冒険しながら走る人と高繁さんは定義されていて、実際に山や砂漠などあらゆる場所を二本の脚で走り、出会いを求めて世界を旅されています。高繁さんが世界を走り始めたのは6年前。それまで中学・高校で英語教師をされていたが、多忙により体を壊し、退職。もともと自転車でアメリカ横断を経験していたこともあり、これを機に、今度は自らの足で世界を走りたいと、世界五大大陸4万キロを走る「PEACE RUNプロジェクト」をスタートさせました。このプロジェクトには「平和だからこそ旅ができる、多くの人と交流することが平和を広めたい」という思いが込められています。これまでアメリカ横断をはじめ、オーストラリア横断やニュージーランド縦断、ヨーロッパ横断など、1つの旅に何カ月もかけて単独で世界平和をアピールしながら旅をしてこられました。

このような長期間に及ぶ旅を共にするのは、バギーという大きな三輪のベビーカー。旅に必要な水や食料、テント、衣服などの荷物を積み込むと、その重量は70キロにもなるそうです。旅をする中で、印象に残っていることをお聞きすると、「病気になったときは、現地の人泊めて看病してくれたバギーが壊れた時には、モーターやバッテリーが無料で泊めてくれたりした。トラブルがあっても、その後必ずいい出会いがある」と語ってくれました。そんな世界を旅する高繁さんが本市に移住されてきたのは昨年のこと。豊かな自然や静けさに魅力を感じたことが理由だそうです。実際に住んでみて、富田林は人が温かく、生活が便利で住みよいと話されました。これからの旅について伺うと、「富田林を含め、日本を世界にアピールし、さまざまな人と交流したい」と話されました。高繁さんは旅や日常での出来事をSNSで発信しています。旅先からのご報告を楽しみにしています。

